

## 生涯研修プロバイダーの認証は何のために

内山 充

先日、とある薬科大学の同窓会誌に寄稿を依頼され、当認証機構の活動内容を紹介する機会を得ました。それは現在われわれが、どのような考えで生涯研修の評価と認証を行なっているかを改めて認識する良い機会となりました。

認証機構は、申請のあった生涯研修提供機関(プロバイダー)について、組織、構想、運営、および研修と認定の実施内容を評価し、認証機構の定めた基準に適合する優れたプロバイダーであればその機関を認証して公表することを事業としていることはご存知のとおりです。プロバイダーの行なっている事業が、客観的に見て標準の水準以上であることを、薬剤師関連の各分野が相互評価して保証するシステムです。

生涯研修プロバイダーの認証は何のために行なうのか、認証の目標としているのは次のような事柄です。

- ① わが国における薬剤師生涯研修の質を一定水準以上に保つことにより、薬剤師実務の向上を図ることができ
- ② 自己研鑽を目指す薬剤師に対して、受講すべき生涯研修プロバイダーを選択するための、信頼性の高い情報を提供し
- ③ 生涯研修の履修単位の均質性を保つことにより、受講者の多様な研修実績を統合して記録できる状況を確立し
- ④ プロバイダーに対して各種情報をフィードバックし、生涯研修の内容を常に改善し強化する努力を促がす

というような、様々な効果を期待できると考えています。

認証機構の発足時に痛感していたこれらの効用の必要性は、今も全く変わらず、しかもこの数年間で、これら目標とした方向が、徐々にではありますが実現に向かって進展しつつあると思います。

国民の医療環境の向上と患者による医療提供機関の選択も、薬剤師の学習意欲の向上と受講者によるプロバイダーの選択も確実に進んでいます。認証機構は、薬剤師生涯研修の信頼性確保のために今後も努力をしたいと考えています。